

# くるゆり通信



第111号 平成25年3月発行  
 発行者 国土交通省中部地方整備局  
 天竜川上流河川事務所  
 小渋川砂防出張所  
 小渋川支部安全協議会

今回のくるゆり通信では、工事情報をお伝えします

伊那谷遺産について今月号より紹介予定でしたが、都合により次回からの掲載となりました。お詫びを申し上げますとともに、ご了承くださいませようお願いいたします。

## 工事が完成しました

平成22年度 天竜川水系釜沢第3砂防堰堤補強工事  
 工期: H23.3 ~ H25.1



昭和43年に完成した釜沢第3堰堤は、多くの年月を経て損傷が多くみられ、また、現在の基準では安定性を十分には満足しないことから工事が実施されました

施工前



主な工事の内容は、堰堤を2.5m切り下げ2.5m分の土砂を撤去することで堰堤にかかる力を減らし、また、水が通る箇所にゴムを貼り付け摩耗から保護する工事です

施工後



水を通す箇所はこんなにぼろぼろでした

衝撃に強いゴム素材を用いて水通し部を保護しました



ワイヤーで堰堤を切り取りました



工事の途中で、現場へ向かう道路が崩壊し、復旧までに時間を要しました



石垣のようにキレイに積みました

掘削した土砂をふるいわけし、今後の工事の資材として沢戸に仮置しました

平成23年3月より工事を開始し、今年1月に無事工事が完成しました。工事中は、近隣の皆様方には工事車両の通行等でご不便をおかけしましたが、皆様のご協力のおかげで無事故・無災害にて完成できましたことを深く感謝申し上げます。

今後も皆様への安心・安全を公共事業を通じお届けできればと思っております。長い間本当にありがとうございました

この工事は私たちが担当しました



監理技術者  
梅本 智佳



現場代理人  
平栗 浩二

**木下建設株式会社**



飯島町文化館での発表

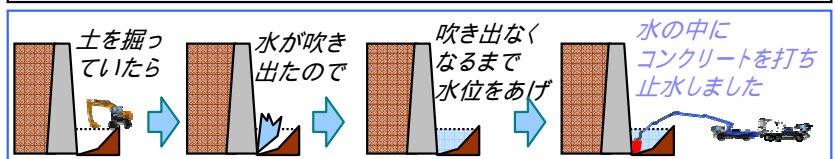
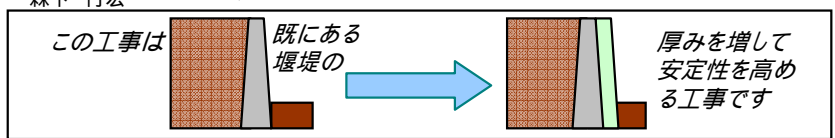


優秀賞受賞  
オメデトー!

## めずらしい工事をしました

平成22年度天竜川水系釜沢第2砂防堰堤補強工事

右の写真をご覧ください。コンクリートを打っているところです。工事車両がたくさん集まっているのがわかると思いますが、大きく伸びたアームの先端が水の中に埋まっています。そう、水の中にコンクリートを打設しているのです



海で行う工事では水の中にコンクリートを打つことはよくあるようですが、海の無い長野県ではめったにしない工事です。普段よりも流動性の低いコンクリートを用い、水中で分離ないようにしました

この日の水温は4℃。水中に潜りホースの先端を操作するため名古屋から駆けつけてくれた潜水夫さんは、名古屋の暖かい海とは違い、伊那谷の冬の川に潜るのはとても大変そうでした



潜水服で完全防寒

地上にいるオペレータと会話が可能な設備がついています

指示に従いホースを誘導する潜水夫さん

管で空気を届けます

止水完了!